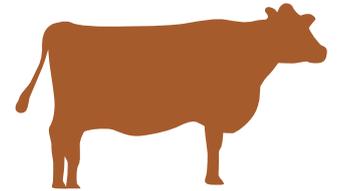


# 宮崎県で口蹄疫が拡大しています

テレビで報じられていない非常事態のお知らせです

## ■ 口蹄疫(こうていえき)とは？

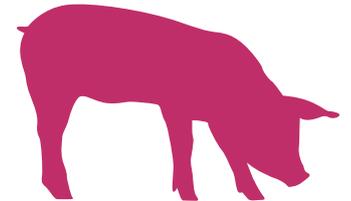
家畜の伝染病のひとつです。偶蹄類(牛、羊、鹿、豚、猪、カモシカなど)やハリネズミ、ゾウなどが感染するウイルス性の急性伝染病です。口蹄疫は空気感染・飛沫感染を可能とするほど強力な感染力を持ち、**口蹄疫に感染した家畜は殺処分されることになります。**そのため、口蹄疫が発生すると大きな損害となり、廃業してしまうケースも少なくありません。



## ■ 今回の口蹄疫で4万頭以上の殺処分。被害拡大の理由は…

5月7日時点で殺処分の対象となる家畜は44,892頭です。2000年にも宮崎県と北海道で口蹄疫が発生しましたが、殺処分頭数は740頭と今回の約1.7%です。

何故、ここまで被害が拡大したのか？理由は「**口蹄疫発生後、政府が消毒薬を一箱も配布しなかった**」ためです。2000年のケースでは政府(自民党政権)が口蹄疫の発生後に消毒薬を配布したため、被害を最小限に抑えることができました。



今回の口蹄疫は4月20日に発覚しましたが、民主党政権は積極的に動きませんでした。鳩山首相や赤松農水相は視察にも行っていません(赤松農水相は外遊中)。現在、自民党が民主党に口蹄疫に関する追加対策を3回も申し入れています。

ぼくたちの仲間がたくさん殺されてしまいます。  
みなさんも口蹄疫の被害状況を知ってください。

